

# かべ新聞

第 151 号

2022 年  
7 月 25 日

J R 東海労働組合  
新幹線地方本部  
東京車両所分会

## 第 16 回分会定期大会開催！ 田川さんの JR 東海労加入決意を全員で確認！

### メインスローガン

J R 東海労の未来を切り拓くため  
職場からの闘いを基礎に組織一丸となり全力で闘おう！

7 月 24 日、中央区月島区民館において第 16 回分会定期大会を開催しました。今年の大会も新型コロナウイルス感染拡大防止に細心の注意を払っての開催でした。

開会前段、6 月 28 日 JR 東海労に加入した田川さんの大歓迎集会のビデオが上映され、田川さんの加入に至る経緯と力強い決意を参加者全員で確認しました。



大会は、佐藤副委員長の司会で開会しました。議長には、伊藤さん（仕業）を選出して議事が進行されました。

板倉分会長挨拶は、「①前段のビデオでの田川さんの決意をしっかりと確認して、あきらめることなく組織拡大に邁進しよう。②今年も「コロナ禍」で組合員が一堂に会する機会も少ない現実にあるが、連携を密にして活動して行こう。③参議院選挙では残念ながら改憲派が多数となった

が、改憲に反対する勢力の拡大に向け奮闘しよう。④診断書強要中労委では、不当にも都労委の勝利命令が取り消された。行政訴訟として東京地裁に提訴して闘う。また本橋さんは、一方的に強制出向させられた。本橋さんは、出向の取り消しを求めて東京地方裁判所に仮処分申立を行った。本橋さんと共に闘う。⑤職場改善のために出来ることをやろう。出向先会社の職場環境、労働条件改善に向けて、地本・プライム会議と連携して闘う⑥向こう 1 年間も健康第一に頑張ろう！」との挨拶がありました。

来賓として、本部・斉藤書記次長、地本・土川副委員長の挨拶を受けました。

質疑では組合員から「出向先でも問題が多々ある。JR 並みの労務管理がやられようとしている。」「出向先は、所定労働時間が JR よりも長い。明らかに労働強化となっている。出向先会社の労働者とのつながりも大切にして、職場環境改善に向け頑張る」「コロナウイルスに感染した社員に対して、申請すれば手当が支給されるにもかかわらず、管理者は一切教えてくれない。不親切だ！」「ヒューマンエラーを発生させた社員に対しての対応で明らかに組合間差別があるように思える！」「タブレットの不具合が多く、その対応で苦勞している。会社に改善するよう訴えよう！」「出向先会社と

団体交渉を行い多くの諸要求改善を実現させてきた。」「賃金未払いに対しても追支給させてきた。」「おかしいことに、あきらめ流されることなく闘う！」などの発言が出されました。

## 「おかしい事には、おかしい！」と全力で闘おう！

山口書記長の総括答弁では「われわれもしっかりと勉強して会社に立ち向かおう。おかしい事には、おかしい！と声を出し闘おう。タブレットの不具合も改善を求めて要求していく。SMT、SEK を含め出向先会社には多くの諸問題がある。地本、プライム会議と連携して改善に向け奮闘する。あきらめず組織拡大に向け奮闘しよう！」と答弁を行いました。

スローガン（案）、予算（案）、運動方針（案）を満場一致で承認後、大会宣言を採択し、板倉分会長の団結ガンバローで大会を終了しました。

- ・委員長：板倉 晋（仕業） ・書記長：山口 了（SEK）
- ・副委員長：長浜 保（構内操縦）、佐藤 敏（構内操縦）

### <新執行委員>



最先頭で奮闘します。よろしくお願ひします！

## 本橋さんの専任社員激励会

大会終了後、8月より専任社員（6月1日付 新幹線エンジニアリングへ出向）となられる本橋浩司さんの専任社員激励会を開催しました。本部・斉藤書記次長よりJR東海労本部からの感謝状と記念品が贈呈されました。

本橋さんは、これまでの鉄道人生を振り返るとともに「東京地裁に車両所への復帰と本人の同意なき出向の中止を求めて出向命令差止仮処分の申し立てを行った。皆さんの支援をお願いします！出向取り消し、車両所復帰に向け頑張ります！」と力強い挨拶がありました。



※従来は、分会主催で盛大に「専任社員激励会」として開催していましたが、残念ながら今年もコロナ禍での対応とさせていただきました。